

市民協働推進員職員研修「市民とともに地域を変える職員になろう」

報告会

要旨

1 開催概要

□日時：平成27年12月25日（金）午後1時半から午後3時15分まで

□場所：府中市役所西庁舎第1～4委員会室

□内容：

■講師による第1回目から第4回目までの研修の振り返り

Studio-L 洪 華奈 氏

■市民協働推進員からの研修報告

■講評

浅沼教育長

Studio-L 西上 ありさ 氏

■全体総括講評

高野市長

2 要旨（講師による第1回目から第4回目までの研修の振り返り）

先進事例の紹介やスキルのレクチャーなどのインプットと、ワークショップ形式でのアウトプットを4回繰り返してきました。

第1回目は、住民の幸福度について説明したのち、事例紹介を行いました。

住民の幸福度調査から、住民の幸福度と最も相関関係にあるものは、「地域活動の機会と支援があること」。

職員と市民が協働で実施している事例として、広島県福山市「フクノワ」の取組の紹介を行いました。

「フクノワ」の取組では、どのようにすれば福山市の中心市街地のにぎわいを生み出すことができるかを市民と職員が意見交換し、課題を出し合い、取組を行うもので、協働の取組が始まる前までは、職員から見た市民は「どのように市民と接していいかわからない」恐れ存在であり、市民から見た職員は「要望や苦情をぶつける相手」でしたが、互いに話し合いながら取組を進める中で、認識し合い、協働のパートナーとなりました。

これらのことから、市民と地域づくりをしないと、また、参加してくれる市民がいないとこれからのまちの未来はないということがわかりました。

事例紹介をもとに、ワークショップの仕方を学びながら、府中の課題を抽出しました。

どのグループからも「まちの魅力の発信不足」が出てきたことから、テーマとして

設定しました。

第2回目は、市民と協働で取組を進めるにあたって、市民から意見を引き出していく手法の「yes,and」、「yes,but」を体験したのち、課題整理の手法である「負のスパイラルマップ」を作成しました。

第3回目は、「市民や市外の人が府中の魅力を知らない」などという課題に対し、市民と協働で課題を解決する方法として、CMづくりを設定しました。

企画を立てるためのポイントとして、①自分たちがやりたいこと、②私たちができること、③地域が求めていることを中心に考えながら、アイデア出しを行っていただきました。

第4回目では、アイデア出しの中で、「市民とどのように接するべきか」、「どのようにしたら市民が負担を感じずに参加できるか」という意見が出てきたため、広島県の「しまのわ」の取組を通じ、市民が楽しく地域活動に参加する方法を紹介しました。

この取組では、行政がやりたいことがあったときに、市民がやりたいことと、行政ができること、得意なことなどを意見交換し合いながら、接続し、職員でしかできないサポートを行うことが重要であることがわかりました。

これまでの全4回の研修以外にも、課題や研修外での集まりなど、課を越えてチームとなって取り組んでいただきました。

これまで地域活動に関わってこなかった市民を参加いただくための新しい協働の形の提案をいただいておりますので、協働とは何かを考えながら発表をご覧いただきたいと思います。

以 上